



点検評価シンポジウム

第2期の6年に向けて —教育改革とFD—

教授 米田昇平 (点検評価委員会副委員長)

12月6日(木)、点検評価シンポジウムが開催された。法人化して6年目の節目に当たることから、これまでの総括の上に次期6年を展望しようとするものである。

シンポジウムは3部からなり、第1部は、「第1期中期計画の振り返りと第2期中期計画について—教育改革とFD—」と題して、北九州市立大学の岡本博志・副学長、山口県立大学の青木邦男・図書館長、本学から点検評価委員会副委員長の米田の3名が、各大学の取り組み例と、第2期への課題などを話した。北九州市立大学の英語実習を中心とする副専攻の設置、地域創生学群における4年一貫演習・現場実習の取り組み、山口県立大学の「地域にかかわるマインド」や国際コミュニケーション能力の全学的育成などの意欲的試みなど、本学にとっても大いに参考にするべき事例が紹介された。

第2部では、以上の3名のほか、本学の櫻木学部長(コーディネーター)と高田・FD委員会副委員長が加わって、「法人化後の大学—第2期中期計画に向けて—」と題するパネルディスカッションが行われた。各大学のFDの取り組みのうち、山口県立大学の全学をあげての積極的なFD実践が印象的であった。

第3部は、「大学で何を学ぶのか、何をしたいのか」と題して、学生パネルディスカッションが行われた。学生FD委員会の企画によるもので、「関門サミット2012の報告」「やりたい授業」「理想と現実のギャップ」「あるべきゼミの姿」の4つのテーマで学生が報告した。最後に本学の荻野学長がシンポジウム全体を講評した。閉会后、厚生会館の談話室に場所を移して教職員と学生によるティーパーティーが行われた。他大学の取り組み事例や学生の声を直に聞く有意義なシンポジウムであったが、会場が満席とはいかなかったことが惜まれる。



点検評価シンポジウムを終えて

経済学科2年 福本恭久 (学生FD委員会代表)

点検評価シンポジウムに参加して考えたことは、学生FD委員会はどのような活動をすべきなのかということであった。私たちは今年度、点検評価シンポジウムだけでなく立命館サミットにも参加した。そして念願でもあった「関門サミット」を本学で開催することもできた。

関門エリアでは、今まで学生FDの声が聞こえてこなかった。しかし、この関門サミットには多くの学生の参加があり、これをきっかけに、関門エリアで学生FDの活発な動きが出てきたことは嬉しい限りである。

その1ヶ月後に開かれた点検評価シンポジウムでは、「大学で何を学ぶのか、何をしたいのか」をテーマに学生が教職員の方々に前にプレゼンした。教職員と学生が意見交換をする場は少ないので、お互いにより機会になったのではなかろうか。

しかし、このような活動ははじめの一歩にすぎない。サミットでも、点検評価シンポジウムでも、抽象的な意見ばかりで、具体的に何がしたいのかというメッセージを発信することができなかった。このことから今後の活動では、具体性を出していくことが課題だ。

また、学内では、学生FD委員会以外の多様な学生の活動も見られる。そういった学生たちを取り込んで、学生の声を実現する組織にしていきたい。

さらに重要なのが、学生FD活動をゴールとしないことだ。学生FD活動はあくまでもきっかけの場である。学生自身が自分の学びのスタイルを発見し、それが実現ができるよう手助けしていきたい。



共同自主研究

共同自主研究は、学生がグループで調査・研究に取り組むことで、自主的な学習意欲を高め、コミュニケーション能力を向上させることをねらいとした科目です。教員の指導の下で研究をまとめ、中間発表も実施します。

特に「共同自主研究(PBL)」は、「就業力マイスター制」のキャリアアップ学習に位置付けられ、実際に企業・自治体が抱えている課題について、社会人からも指導を受けながら企画・提案を行う産学連携実践型教育です。

今年度の共同自主研究

教授 西田雅弘(副学部長)

例年のように9月下旬の申請、12月上旬の中間報告書提出を経て、12月13日(木)16時40分から2会場に分かれて発表会を開催しました。8件、30名によって成果が報告されました。

研究テーマは身近な問題意識に基づいたもので、実に多彩でした。独居男性老人と商店街の活性化を結び付けようとしたもの、日本の喫緊の課題である原子力発電のあり方に言及したもの、市大生の身体運動の状況を新入生と4年生で比較したもの、映画の字幕と吹き替えの国際比較を試みたもの、日本と韓国における自動車生産システムを比較したもの、今後の成長が予想される福祉産業の問題点を明らかにしたもの、経営の視点から人気アイドルグループの営業戦略に言及したもの、そして、とりわけ今回の報告会で異彩を放ったのが、学内外の英語学習の機会とそれに対する市大生の意識やニーズについて明らかにした報告でした。学生の報告やその後の質疑もすべて英語で行われました。

今後も学生ならではのユニークな視点から共同自主研究が継続されることを期待します。



Our experience of participating in "Kyodo Jishu Kenkyu"

(テーマ: Opportunities for SCU Students to Study English Inside and Outside SCU
—The Current Situation of Students' Awareness and Needs—)

Cho Cho, Yukari Izumi, Takahiro Watanabe

Our two main purposes for this study were to investigate students' attitudes toward studying English and what opportunities they have for studying English, and to influence students to study English more. All three of us like English and we were interested to know the current situation of English study at SCU.

For our research project, we completed our weekly meetings, our midterm report presentation, and our final report all in English in order to continue to learn English. It was difficult to talk and write about our research in English. However, it

was a really great experience because we could learn how to write reports and explain graphs and data in English. Thanks to participating in this research project, we have increased our interest in learning English. If you want to conduct research in English, we recommend taking part in this joint research project. It will give you a great opportunity to learn English.

Finally, we are grateful to our teacher Kris Sullivan. Thank you for all of your help.

(国際商学科3年 泉友加里)

2年目のPBL

教授 大内俊二(キャリア委員会委員長)

本学のPBL(Project-based Learning)は、「企業・自治体が実際に抱えている課題について、学生が社会人から指導を受けながら企画・提案を行う」という趣旨で、昨年度から始まったものです。今年度は、下関市教育委員会生涯学習課、ゆめシティ(株式会社イズミ)、株式会社コミュニティエフエム下関の3事業体様のご協力のもと、3グループ12名の学生が以下のテーマで研究に取り組み、その結果を発表会で報告しました。

①下関市成人の日記念事業

谷本侑生・藏本有佳里・薬師眞子・三井裕美子・秋吉祐輝

②モバイル活用による販売促進

四位拓也・高見昌希・田淵正一

③コミュニティFM放送におけるSNSの活用方法について

宮内啓太・大塚泰河・椛島菜々子・金光佐和子

PBLでは決められた期間内に一定の目標を実現することが求められますが、各グループともその目標を達成し、発表も堂々として行っていました。発表会には、株式会社コミュニティエフエム下関より江本義昭様にご出席下さり、貴重なコメントとともに学生への励ましのお言葉を頂きました。

最後になりますが、今回のPBLをご指導頂きました事業体様および指導教員には心よりお礼を申し上げます。



PBL・共同自主研究を終えて

(テーマ: 下関市成人の日記念事業)

谷本侑生・藏本有佳里・薬師眞子・三井裕美子・秋吉祐輝

今回私たちは、平成25年下関市成人の日実行委員会に参加し、1月13日に行われた成人式の企画・運営を他大学の学生や社会人の方々とともに行いました。

8月から12月まで、約2週間に一回行われる会議に参加し、成人式のテーマや企画を考え準備を進めました。私たちは全員下関市外の成人式に出席したため、残念ながら当日の運営には関わることが出来ませんでしたが、今回のPBLで様々なことを感じ、学ぶことができました。

最も感じたのは、事前準備の大切さについてです。会議では様々なアイデアを出し、その中から企画などを決めます。したがって事前にアイデアを考えていかなければならなかったのですが、そのアイデアがなかなか出ず、議事が遅れてしまうことが多々ありました。もっときちんと準備をして会議に臨むべきだったと思います。

他にも、最新情報を全員が把握しておくことの大切さ、意見の言い方やタイミング、ときには型から入ることが必要なことなど、挙げればきりがありません。私たちはこれから始まる、ゼミや就活でこれらを活かしていきたいです。

(公共マネジメント学科2年 谷本侑生)

共同自主研究テーマ一覧

- **長府商店街の活性化に向けた高齢者の役割**
～歴史を生かした地域活動のあり方～
正野奈都美・安本早希・木村珠莉・梶島菜々子・小野佳菜
指導教員：難波利光・土屋敏夫
- **原子力発電の安全性とエネルギー問題について**
岩切範仁・秋本健太・入江有太郎・下野聡人・平山泰之
指導教員：佐々木実
- **大学生のスポーツ活動の現状について**
～下関市立大学1年生と4年生の比較検討～
白河原健・長嶋建治・堀江竜真・野崎智子・舟尾崇寛
指導教員：中嶋健
- **Opportunities for SCU Students to Study English Inside and Outside SCU**
～The Current Situation of Students' Awareness and Needs～
張超・泉友加里・渡辺貴大
指導教員：K.サリバン
- **世界における字幕の成り立ち**
～ヨーロッパ、中国、日本、韓国を比較して～
丸山美由紀
指導教員：K.サリバン
- **「グローバル化と21世紀の日本製造業の行方：東アジア諸国との関係を中心に」**
藤崎健太郎・渡部正利・上耕厚廣・大久保博仁・田中俊
指導教員：山川俊和・高田 実
- **これからの成長産業である福祉産業の問題点**
「高齢者の二極化」と「民間の参入」
三好友良
指導教員：田中裕美子
- **現代社会のホットな問題**
山口朗史・田淵弥菜人・平井伶於・大西翔太・深野隆明
指導教員：高田 実・吉弘憲介

PBL

- **下関市成人の日記念事業**
谷本侑生・藏本有佳里・薬師真子・三井裕美子・秋吉祐輝
指導教員：大内俊二・中川真太郎
- **モバイル活用による販売促進**
四位拓也・高見昌希・田淵正一
指導教員：松本義之・中川圭輔
- **コミュニティFM放送におけるSNSの活用方法について**
宮内啓太・大塚泰河・梶島菜々子・金光佐和子
指導教員：難波利光・山川俊和

トラフグ研究会開催

教授 濱田英嗣

本年2月2日、本学本館3階301教室にて、進展中のトラフグ大衆化現象をより精密に捉え対策を検討するねらいで、今回、講師にみなと新聞大阪支社長長浮田晶可氏をお招きし、「関西におけるトラフグ流通の動向」をテーマに講演をいただき、活発なディスカッションを交わすことができた。

大衆市場化とトラフグ需要の縮減により、「品質より価格」競争、そして低価格戦略を追求するチェーン経営の比較優位性の鮮明化の指摘があり、今後の予想として、トラフグ低価格化で「みがき流通」の増加傾向が強まるとの分析があった。

これを受け、下関地域に向けた論議が①「大衆市場化の養殖経営への影響」②「産地ミガキ加工の担い手予測」③「下関南風泊市場の課題」などをめぐって行われ、他地域から学ぶよい機会となった。



● 合同ゼミ ディベート大会 ●

准教授 中川真太郎

准教授 山川 俊和

昨年11月30日に、中川真太郎ゼミと山川俊和ゼミの合同でディベート大会を開催しました。それぞれのゼミの3年生から2チームずつ組織し、「日本における高速道路の是非」と「日本における原発の是非」の2つのテーマでディベートを行いました。他のゼミの学生および教員が審判として参加し、会場は80人近い参加者で立ち見が出るほどの盛況となりました。

ディベートというと討論のテクニックを競うものと思われがちですが、それは全体のごく一部に過ぎません。自分達の立論を組み立てるために下調べし、相手に衝かれるような弱点がないか検討し、立論を更に改善していく。そういった事前の地道な勉強がなければ、どれほどテクニックを磨いても勝つことは出来ません。今回のディベートでは両ゼミが事前の準備に数ヶ月かけてきました。

回収したアンケートからは、充実したディベートに多くの聴衆が刺激を受けた様子が見てとれました。また、今後もこのようなゼミ間の交流を継続・発展して欲しいという声も多くありました。これらの要望に応え、研究を通じてゼミ同士が交流し、互いに研鑽できる環境づくりに努力していきたいと考えています。



■ 本学のキャリア教育について

上野恵美 (キャリアセンター長)

平成20年度より、2年生向けの「キャリア概論」、3年生向けの「就職力開発」をスタートさせ、平成23年度から1年生向けの「キャリア概論」、3・4年生向けの「地域経済特講(ビジネス・プロフェッショナル)」をラインナップしたことで、1年生から4年生まで、体系的にキャリア教育を行うことができました。

「キャリア概論」では、本学卒業生を中心とした社会人をお招きし、大学時代どのように過ごし、卒業後どのような仕事を経験されているかをお話いただきました。卒業して間もない方から定年退職目前の方という幅広い年齢層の方々が共通して口にされたのが、「大学生だからこそ、失敗を恐れず、何事にも挑戦をしよう。挑戦をしたという経験が、社会人になったときに仕事の上で必ずプラスになる」という内容でした。身近な卒業生の言葉ということもあり、学生たちは熱心に耳を傾けていました。

「地域経済特講(ビジネス・プロフェッショナル)」では、下関市を代表する企業の代表取締役や役員の方々にお越しいただき、業界を取り巻く環境や、企業の概要説明、経営や人材育成の方針についてご講演いただきました。通常会社説明会などでは接することのない方々から、最新のビジネス情報や苦境に立たされた局面をどのように乗り切られたのか、また、会社を経営することへの熱い思いなど、生きた経済をお聞きすることができ、学生には大きな刺激となりました。社会人間近の4年生にとって、仕事の厳しさと同時に楽しさを理解することができ、3年生にとっては、今後どのような方向で仕事をしていきたいかの指針になったと思われまます。

■ 学内合同業界研究会

上野恵美 (キャリアセンター長)

平成24年11月12日(月)、13日(火)、15日(木)、16日(金)の4日間、全学年の学生を対象として、学内合同業界研究会を行いました。

このイベントは、就職活動を控えた3年生はもちろんのこと、1・2年生においても、世の中にはどんな業界があり、どのような仕事があるのかを知ってもらいたいという趣旨で実施しています。本来ならば、学生自身が動き研究をすべきところですが、企業ごとに訪問するためには時間とお金がかかります。そこで、本学卒業生が活躍している企業を中心にお声がけをし、学内での業界研究会を開催しています。今年度は、85社の担当者の方にお越しいただき、のべ825名の学生が参加しました。

参加した学生からは「志望とは違う業界の話も聞くことができ、職業選択の幅が広がった」「良い業界研究の機会となった」という声も寄せられ、有意義なものとなりました。



■ キャリアスタディに参加して

国際商学科3年 森本悠水



私は、今回のキャリアスタディに参加するまで、「働く」ということを実感できず、しっかりとした就職活動のやりがいも感じられていませんでした。しかし、やりがいや充実感を持って仕事をされている先輩方に会い、働くということはつらく大変なこともあるが、それ以上にやりがいがあるのだということ肌で感じることができました。自分の人生をしっかりと見つめ、これからどんな人生を送りたいかという将来のビジョンを持つことが大切だと思いました。目的を持たず、ただ内定を取るために就職活動をするのではなく、先輩が言われていた『就職活動は楽しんだもの勝ち』というように、これからの人生を見据え、自分の視野を広げられることを楽しみながら就職活動をしていきたいと思います。先輩方と同じように就職した後、自分の経験を後輩に話せる先輩になれるように、私も精一杯就職活動を頑張りたいと考えています。このような機会を設けていただきありがとうございました。



3月のキャリア行事予定

平成24年度 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受け、10月から様々な取組を行ってきました。今後実施するイベントについてご紹介します。

開催日	内容
3月18日(月)	第2回業界研究バスツアー 中小企業の魅力を発見しよう!
3月21日(木) ・22日(金)	キャリア合宿 (北九州市立玄海青年の家) 全学年を対象として、働くことについて考え、コミュニケーション能力を鍛える2日間。
3月23日(土)	女子学生のための“市大キャリアスタディ” 結婚・出産をどのように乗り切ったのか。市大卒業の女性社会人に働き方を学ぶ
3月24日(日)	キャリア講演会 「働くとは何か」「産業界で求められている力とは何か」について学ぶ。

平成24年度の就職状況について

教授 大内俊二 (キャリア委員会委員長)



全国でみると、平成25年3月大学卒業予定者の平成24年12月時点での就職内定率は、最低となった2年前から、2年連続で数ポイント上昇していますが、厳しい就職状況に変わりはありません。大企業志向だった学生が減る一方、中小企業を志望する学生が増えたことで雇用のミスマッチが解消されつつあることが上昇の主な理由であるといわれています。

本学学生については、平成25年1月末時点では、昨年度をわずかに上回る就職内定率となっております。内定先を業種別にみると、例年通り金融機関が最も多く全体の26%を占めており、小売業15%、卸売業10%がそれに続きます。また、本学の男子学生の就職内定率は決して低くはありませんが、女子学生のそれの方が例年高いことは、他大学には見られない特徴です。

平成24年度就職状況 (就職内定企業一覧 平成25年1月31日現在)

金融・保険	全国共済農業協同組合連合会	朝日ソーラー㈱	株仁科百貨店	ミニストップ㈱	㈱アリス	三井倉庫九州㈱
株みずほフィナンシャルグループ	東京海上日動火災保険㈱	あいえず造船㈱	㈱スタートトゥデイ	サービス・その他	㈱トリドール	㈱名門大洋フェリー
㈱商工組合中央金庫	株かんば生命保険	株神田造船所	㈱AOKI	日本年金機構	サンヨーグループ	ヤマト運輸㈱
株阿波銀行	日本生命保険相互会社	シミズ工業㈱	株エービーシー・マート	加古川商工会議所	総合観光㈱	郵便事業㈱(日本郵便㈱)
株伊予銀行	明治安田生命保険相互会社	東洋ゴム工業㈱	株サンエー・インターナショナル	山口県商工会連合会	㈱ダイナム	岩崎グループ
株大分銀行	第一生命保険㈱	商社・小売	株ワールドストアパートナーズ	山口合同ガス㈱	㈱タイラベストビート	両備ホールディングス㈱
株香川銀行	住友生命保険相互会社	アルフレッサ㈱	石川トヨベツ㈱	応用地質㈱	株伯和	情報・通信
株鹿児島銀行	全国農業協同組合連合会	株セイエル	香川自動車㈱	株田中事務所	建設・不動産	㈱富士通九州システムズ
株北九州銀行	板野郡農業協同組合	フジモトHD㈱	株スズキ自販長崎	中央開発㈱	大和ハウス工業㈱	㈱富士通パブリックソリューションズ
株京都銀行	いわみ中央農業協同組合	マエタ薬品商事㈱	株スズキ自販山口	一般社団法人日本貨物検査協会	株愛建ホーム	みずほ情報総研㈱
株西京銀行	大分県農業協同組合	株よんやく	鳥取トヨベツ㈱	㈱スタジオアリス	株アキュラホーム	株アルファクス・フード・システム
㈱山陰合同銀行	岡山市農業協同組合	小西医療器㈱	トヨタカローラ山口㈱	株ファンインドスター	㈱一糸工務店山陰	㈱イセト
株四国銀行	鹿児島県農業協同組合	島津メディカルシステムズ㈱	株日産プリンス金沢	プラネットメディカル㈱	株カシワバラ・コーポレーション	㈱インフォテック朝日
株島根銀行	新岩手農業協同組合	株フィデスワン	ネットヨタ山口㈱	株アクシア	㈱三陽ホーム	㈱エクサ
株十八銀行	福岡県花井農業協同組合	株サンエス西日本	株ビックモーター	英進館㈱	新生ホームサービス㈱	㈱エクストランス
株親和銀行	福山市農業協同組合	株トリニティアーツ	株ヤマグチチーズ	㈱鶴岡州コーポレーション	セキスイハイム中四国㈱	SCSK㈱
株筑邦銀行	南すおう農業協同組合	イワタニ山陽㈱	山口タイハツ販売㈱	株向学社	積水ハウス㈱	㈱エヌエスケーカー
株中国銀行	北九州農業協同組合	株エコア	山口トヨタ自動車㈱	株スタンダードカンパニー	創建ホーム㈱	MUS情報システム㈱
株徳島銀行	さつま置業協同組合	コスモ石油販売㈱	山口トヨベツ㈱	株品	大東建設㈱	株佐賀電算センター
株鳥取銀行	津山農業協同組合	鈴与マテリアル㈱	山口日産自動車㈱	株スマークルネットワーク	田村建材㈱	㈱R西日本ITソリューションズ
株トマト銀行	全日信販㈱	高山石油ガス㈱	株レッドパロン	株JT九州	東建コーポレーション㈱	株システムビー・アルファ
株西日本シティ銀行	第一商品㈱	南国殖産㈱	株岩崎宏健堂	株西鉄エアサービス㈱	東宝ホーム㈱	㈱シグ
株肥後銀行	豊商事㈱	広島ガス三原販売㈱	株コスモス薬品	株テイクアンドグヴ・ニーズ	株吉源工務店	株ゼンリン
株百十四銀行	株ANSIN-LINK	株豊通マシナリー	株サンキョードラッグ	グリーンヒルズインドアテニススクール	株九動	株ソルネット
株福岡銀行	製造	株山産	セガメディクス㈱	株シェイプアップハウス	瀬戸内共同火力㈱	テレコムサービス㈱
株南日本銀行	旭化成ファーマ㈱	トラスコ中山㈱	中部薬品㈱	株天法堂	中電ブランド㈱	東芝テックソリューションサービス㈱
株宮崎銀行	あすか製薬㈱	大田鋼管㈱	株ドラッグイレブン	株レッドバンク	千代田化工建設㈱	日本ユニシス㈱
株もみじ銀行	株エフピコ	小野建材㈱	株葉王堂	株ニチボウ	三菱電機ビルテクノサービス㈱	株光通信
株山口銀行	杏林製薬㈱	サンキン㈱	株ラブドラッグス	株バイオテック	株アパマンショップホールディングス	三菱総研DSC㈱
株ゆうちょ銀行	大正製薬㈱	協立エアテック㈱	エース事務機㈱	株ポジティブドリームパソナズ	株アットホーム福岡	三菱UFJインフォメーションテクノロジー㈱
中国労働金庫	大正富山医薬品㈱	株ヨコハマタイヤジャパン	アブライド㈱	松山総合開発株松山全空ホテル	アップル不動産㈱	株山口情報処理サービスセンター
九州労働金庫	高田製薬㈱	株昭和コーポレーション	株メディエーター	株東横イン	株イシンホーム	ヤマシシステム開発㈱
静岡県労働金庫	テルモ㈱	天龍木材㈱	三和興産㈱	株法華倶楽部	株一糸工務店	株ランドコンピュータ
郵便局㈱(日本郵便㈱)	鳥居薬品㈱	株林角本店	イオンリテール㈱	株イオンリテール	株ウチダレック	株エス・ビー・シー
宇和島信用金庫	西川ゴム工業㈱	イシグロ㈱	株エプライ	リゾートトラスト㈱	株えん	株ジャパココミュニケーション
津山信用金庫	日本ケミファ㈱	合田商事㈱	株タイヨー	株マイナビ	株合人社計画研究所	株宣伝会議
福岡ひびき信用金庫	久光製薬㈱	株ジェイアール西日本商事㈱	株トライアルカンパニー	医療生活協同組合健文会	株コーセーアルイー	株西日本リビング新聞社
鹿児島信用金庫	株伊藤園	日野出㈱	株ドン・キホーテ	大阪府歯科保険医協会	株三友不動産	株ビジネスアシスト
東予信用金庫	株クリニコ	株ほっとエコライフ	株ハートフレンド	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会	大英産業㈱	株アト
日本海信用金庫	大興産業㈱	三菱電機環境システムズ㈱	株ハロー	公立豊岡病院組合	株東武住販	株佐賀新聞サービス
広島信用金庫	株杉葉蜂園	株ライフネット難波	株ハローズ	湖山医療福祉グループ	株ニッカホーム	株セルクル
但馬信用金庫	堂本食品㈱	株ライフネットワーク	株ハローデイ	社会医療法人財団池友会 新小文字病院	株ハローネット	株Going
西中国信用金庫	日本食研㈱	両備商事㈱	株フジ	社会医療法人天神会	株不動産中央情報センター	株ジュビターテレコム
おかやま信用金庫	農水フーズ㈱	若井産業㈱	株マックスパルコ西日本㈱	セントケアホールディングス㈱	株不動産のデパートひろた	株USEN
呉信用金庫	株日高食品	株ハイエレコン	株松源	社会福祉法人年長者の里	株ランディックアソシエイツ	公務
高松信用金庫	富士物産㈱	株日本アクセス	株丸久	社会福祉法人ひとつの会	株リファレンス	陸上自衛隊
播州信用金庫	株もち吉	ヤマエ久野㈱	株ミスターマックス	社会福祉法人的場会	株レオパレス21	岐阜県高校教諭
広島市信用組合	株森松水産冷凍㈱	株エバーライフ	株日本ホットライフ	株アクトライズ	大和リース㈱	京都府庁
広島県信用組合	やまぐち県酪乳業㈱	株大阪めいらく	株イリエ	株アサヒセキュリティ	太陽建機レンタル㈱	福岡県庁
兵庫信用組合	アート印刷㈱	株極東ファデイル	株キタムラ	株アビリティセンター	株運輸・郵便	株錦町役場
兵庫県信用保証協会	朝日印刷㈱	株田中食品産業㈱	株コーナン商事	株イセツ	株九州旅客鉄道	株矢掛町役場
広島県信用保証協会	株報光社	株東洋冷蔵	株コメリ	株建美装社	株西日本旅客鉄道	株大分県警察
広島県信用農業協同組合連合会	株アルミネ	株日本酒類販売	株ジュンテンドー	株サニクリーン九州	株京都市交通局	株大阪府警察
山口県信用農業協同組合連合会	株カワイ電線	株浜中	全国大学生生活同組合連合会中国・四国事業部	株ジェイ・エス・エス	株関光汽船	株岡山県警察
大分県農業信用組合	株長府工業	株浜松魚類	生活協同組合コープこうべ	株スリーエス	株関釜フェリー	株警視庁
野村證券	株長府製作所	株片岡商店	株大創産業	株中国警備保障	株関門汽船	株長崎県警察
SMBCフレンド証券	株東洋アルミニウム	株マルウ接着	株タカミヤ	株にしけい	株倉敷運輸	株長崎県警察
東海東京証券	株日鋼サッシュ製作所	株三菱電機ライフネットワーク	株中央コンタクト	株ラウンドワン	株サカイ引越センター	株福岡県警察
岡三証券	株大森機械工業	株インテンス	株ナフコ	株カッパクリエイトホールディングス	株佐川急便	株宮崎県警察
丸三証券	株大和冷機工業	株ACN九州	株ニトリホールディングス	株きちり	株第一交通産業	株山口県警察
東洋証券	株ニプロ	株ACN中国	株日本ファイバー	株サイゼリヤ	株東ソー物流	株非原地区消防組合
エース証券	株ビー・ブラウンエースクラブ	株シオタニ	株はせかち	株ジョイフル	株徳山海陸運送	株下関市消防局
香川証券	株フジオーゼックス	株不二貿易	株ヒマラヤ	株ジー・ネットワークス	株日本貨物航空	株東京消防庁
静岡東海証券	株ホーコス	株井筒屋	株ベンチャーバンク	株すかいらく	株日本通運	株姫路市消防局
大山日ノ丸証券	株アイコム	株鶴屋百貨店	株セブン・イレブン・ジャパン	株スガキシステムズ	株福山通運	株広島市消防局

日本にいながら世界を知ろう!!

このイベントは、海外留学の魅力や最新情報、世界情勢などに関する知識を深めることを目的に、毎年6回開催しています。

第4回は、留学体験発表会と題し、朝鮮語、中国語、英語の3回に分けてそれぞれ留学体験者の話を聞きました。

第5回では、TICADV(第5回アフリカ開発会議)学生プロジェクトの日本ユース代表4名の1人に選ばれ、ブルキナファソでTICADVの予備会議に出席し、アフリカの現地学生団体との交流など、様々な活動をしてきた亀鷹さんの参加報告を聞きました。

●第4回 日本にいながら世界を知ろう!!

Part-I 朝鮮語

経済学科1年 西村美紅



Part-Iの朝鮮語では、韓国で留学やインターンシップなど、さまざまな体験してきた4人がプレゼンテーションを行いました。たくさんの写真を使用し、留学に役立つ情報や、

現地での体験、韓国の文化や料理などを幅広く紹介しました。

発表の後半ではユニークな質問セッションもあり、分かりやすく楽しい発表にすることができました。

Part-II 中国語

国際商学科4年 小谷蓮実



Part-II中国語の第1部では外国研修(中国語)、青島大学・北京大学への派遣留学、そして国際インターンシップ(中国青島市)の参加報告を行い、中国での経験や成果の発表を

しました。第2部では中国文化についてディスカッションを行い、議論だけではなく買い物テーマにした実演なども交えて意見交換をしました。

Part-III 英語

国際商学科4年 岡田知紘



私はアメリカからの帰国後に、Part-III英語圏の留学体験発表の司会を担当させていただきました。私が留学したアメリカだけでなく、他の英語圏についても詳しく知ることができました。同じ英語という言語が話されている国であっても、文化やその国で暮らす人の気質がとても違うということが実感できました。

●第5回 日本にいながら世界を知ろう!!

国際協力

経済学科3年 亀鷹皓平

12月21日(金)、私が参加しているTICADV学生プロジェクトと、その活動の一環として11月に渡航したアフリカでの活動について発表しました。

発表内容を考える際、私は「どのように話せば参加者の皆様に私の想いが伝わるだろうか」と非常に悩みました。しかし国際交流センターの方々をはじめ、自主サークルWSKの仲間など、様々な方にアドバイスをいただき、発表の最初に全員でゲームやワークショップ

プを行い、世界の地域間関係について体験的に理解を深めていただいた後、プレゼンテーションへ移行するスタイルにしました。

参加者約30名は積極的にゲームやワークショップに参加していただき、交流を楽しみながら国際協力について理解を深めていただくことができました。

今回の発表を通して、ひとつのイベントを実施するためには多くの人の協力が必要であるということを改めて実感しました。協力して下さった方々、そして参加者の皆様、本当にありがとうございました。これからも少しでも多くの方に国際協力について関心を持っていただけるよう、活動を継続するとともに、積極的に情報を発信していきたいと思います。



餃子パーティー

中国では冬至の日に餃子を食べる習慣があるので、本学でも学生自主サークル「中国語しゃべっちゃイナ」主催で冬至の頃に餃子パーティーを毎年開催しています。

今年度も12月22日(土)に開催し、中国人留学生から丁寧な手ほどきを受けながら、家庭的な雰囲気の中で水餃子を作り、本場の味を楽しみました。

試食の後は、ミニ中国語講座や中国文化の紹介などもあり、お腹いっぱい中国文化を楽しみました。

「餃子パーティー～食・見・交・群～」今年も開催

経済学科1年 于 徳林

12月22日(土)SCU国際交流会館で、自主サークル「中国語しゃべっちゃイナ」主催の第5回餃子パーティー～食・見・交・群～を開催しました。このイベントのテーマは、中国文化や行事を体験を通して理解していただくことです。

今回は、地域の方々、本学学生、教職員等約60名が参加しました。中国人留学生達の指導のもと、参加者全員で餃子の皮に具材を包み、本場の水餃子を作りました。そして、熱々の餃子を美味しくいただきました。その後、プロジェクターを用いて中国の旧正月について紹介し、漢字ゲームで日本と中国で意味が異なる言葉を説明しました。

「餃子パーティー～食・見・交・群～」は、サークルメンバー全員で頑張っ て企画しました。私たちの活動に協力してくださった皆様に深くお礼申し上げます。

次回の餃子パーティーは、今年12月に開催の予定です。日中文化交流をさらに深めるためにも、皆さん是非ご参加ください。



JASH!!!主催 第5回クリスマスパーティーを開催しました!

国際商学科2年 中川秀汰

12月17日(月)、下関市立大学厚生会館2階の談話室にて、自主サークル「JASH!!!」主催のクリスマスパーティーを開催しました。下関市内の大学生や留学生など約40名が参加し、軽食やソフトドリンクで各国のクリスマスについて歓談し、英語を使ったクリスマスのゲームやビンゴゲーム等を楽しみました。クリスマスパーティーの最後には本学のSing Songサークルによる歌や、国際商学科4年で今年1年間のアメリカ派遣留学から帰国した大賀嵩文さんによるギター演奏があり、とても盛り上がりました。予想より多くの方々にご参加いただき、僕たち主催者も非常に嬉しかったです。来年度も今年度以上に盛り上がるクリスマスパーティーを計画していますので、みなさんも是非ご参加ください。



留学生送別会を開催して

国際商学科2年 森下陽介
(国際交流会ともだちサークル部長)

1月25日(金)、本学の厚生会館3階ホールにて、本年度卒業予定及び留学期間が終了する留学生の送別会を開催しました。留学生のクラスメイトや留学生チューター、また本学教職員など、学内外から80名の参加がありました。留学生達は今までお世話になった方たちと楽しいひと時を過ごしていました。

学長の挨拶で始まった今回の送別会では、留学生に日本で学んだ事をインタビューしました。彼らが体験してきた濃い留学生活が伝わってきました。また、今年度はアカベラサークルによるミニLIVEを取り入れ、今までより一層盛り上がりました。

毎年感じるのですが、留学生の皆さんはひたむきに日本語と日本文化を学び、また日本での生活を本当に楽しんでいます。この姿勢を私たちも学ぶべきであり、これからのサークル活動においても留学生との交流を大切にしていきたいと改めて実感しました。

最後に留学生の皆さん、帰国してもここ下関市立大学で学んだことや、一緒に過ごした仲間を忘れず邁進してください。また会える日を楽しみに、お互いに頑張りましょう。



第4回中国語スピーチコンテスト

経済学科2年 孫 宗臣

9月29日(土)に第4回中国語スピーチコンテスト(実行:自主サークル「中国語しゃべっチャイナ」)を開催しました。



「朗読の部」、「暗誦の部」、「弁論の部」の3部門を設け、「朗読の部」はレベルによって「朗読I」と「朗読II」に分けました。これは、初心者も勇気を持って参加できるようにという目的からでした。中国語を勉強している方々に「楽しそう」、「もっとがんばろう」、「もっとチャレンジしよう」と思っていたく機会を提供するためです。

今年度は、下関市内の高校生、山口県立大学、長崎活水女子大学ならびに本学の学生等36名が出場し、学内外から70名以上の聴衆が訪れました。

中国語しゃべっチャイナは、スピーチコンテストを開催することで、日中友好の懸け橋となり、民間レベルでより深く交流できるように頑張っています。今回の大会にご協力くださった各企業の皆様、日中友好協会、本学の皆さん、どうもありがとうございます。

第5回中国語スピーチコンテストも今年の秋に開催する予定です。ぜひご協力お願いいたします。



第8回下関市立大学コリアンスピーチ大会

経済学科3年 林 知子

11月21日(水)、第8回下関市立大学コリアンスピーチ大会を開催しました。出場者は「朗読の部」・「暗誦の部」・「弁論の部」の3部門に分かれて発表し、発音や表現などに加え、部門によっては内容や時間などの基準で審査されます。今回も本学の学生だけでなく、他大学の学生や韓国語に興味を持つ一般の方々の参加があり、参加人数・来場者ともに過去最多となり、大盛況でした。

最近の「韓流ブーム」をきっかけに韓国語が身近な存在となり、本学でも朝鮮語を履修する学生が多くなってきています。本大会は、出場者に限らず会場に来られた全ての方に韓国語に興味を持っていただくことを目的のひとつとしています。今回、観客として来場されていた一般の方から「来年の大会には出場したい」との声をいただき、実行委員として達成感を感じるとともに、「多くの方が参加しやすい大会にする」という目標もできました。

私たちコリアンスピーチ大会実行委員会は、より多くの方々に本大会について知っていただくために活動範囲を広げ、今後この大会が末永く続けられるよう、更なる向上を目標に活動していきたいと思っています。



市民大学・テーマ講座開催

准教授 素川博司

2月2日、本学本館2階I-206教室にて、「世界経済と日本」と題して公開テーマ講座が開催されました。最近の世界経済情勢を確かな目線でしっかりと理解したい、意欲的な30数名の市民が集まりました。質疑応答も含めて3時間を超える長丁場でしたが先生方の講義に熱心に聞き入りました。折からのユーロ経済危機、財政の崖問題を抱えた米国、アベノミクスなどどう考えればよいか、難しい経済問題ですが市民の関心は随分高かったようです。

講義タイトルは、「世界経済とアジア」「アメリカ経済」「ユーロ経済」「日本経済」、講師4名はいずれも本学教授陣。講義順に川本忠雄教授、山川俊和准教授、西戸隆義准教授、素川博司准教授が担当し、学会の共通論題方式に準じて実施されました。



学生団体新役員紹介



第9代 学友会執行部
 会長 長町 佳祐 (国際商学科3年)
 副会長 橋本 円 (国際商学科3年)
 会計局長 田村 碧治 (経済学科3年)



第29代 文化会
 会長 山本 容子 (国際商学科3年)
 副会長 柳原 真次 (公共マネジメント学科2年)
 書記 里 雄也 (国際商学科2年)



第38代 体育会
 会長 澤野 翔太 (国際商学科3年)
 副会長 上村 兼治郎 (経済学科3年)
 書記 曾我 修司 (国際商学科3年)



第52回 大学祭実行委員会
 委員長 杉尾 宏樹 (国際商学科2年)
 副委員長 大田 耕之郎 (国際商学科2年)

2013年度入試結果

2012年11月17日(土)及び12月15日(土)、本学において2013年度推薦入学、帰国子女・社会人・中国引揚者等子女特別選抜、第3年次編入学、外国人留学生選抜を実施しました。

学科	入試区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
経済学科	推薦入学	全国	27	82	82	27	3.0
		地域	A	29	39	39	29
	B						
	帰国子女	2	0	0	0	—	
	社会人	2	0	0	0	—	
	中国引揚	若干名	0	0	0	—	
	留学生	若干名	17	17	10	1.7	
編入学	8	23	19	8	2.4		
国際商学科	推薦入学	全国	27	41	41	29	1.4
		地域	A	29	33	33	29
	B						
	帰国子女	2	0	0	0	—	
	社会人	2	1	1	0	—	
	中国引揚	若干名	0	0	0	—	
	留学生	若干名	26	25	12	2.1	
編入学	8	29	26	12	2.2		
公共マネジメント学科	推薦入学	全国	7	21	21	8	2.6
		地域	B	8	10	10	8
	帰国子女	1	0	0	0	—	
	社会人	1	0	0	0	—	
	中国引揚	若干名	0	0	0	—	
	留学生	若干名	2	2	0	—	
	編入学	4	9	7	2	3.5	

秋季サークル大会成績

陸上部	山口県体育大会陸上競技	男子400m	1位	丸山 裕生
		男子110mハードル	1位	岡田 佑己
		男子やり投げ	2位	金田 拓也
		男子100mリレー	2位	額原光甫・松本隆之・岡田佑己・丸山裕生
男子バスケ部	秋季山口県学生バスケットボール大会	2部	3位	
女子バスケ部	秋季山口県学生バスケットボール大会	1部	3位	
男子バレー部	秋季中国大学バレーボールリーグ戦	2部	4位	
準硬式野球部	秋季中国地区準硬式野球大会	1部	3位	
			打撃十傑	植田 遼
			バストナイン	植田 遼
	全日本9ブロック対抗準硬式野球大会		中国地区代表出場	永井英明・河野義貴・丸尾元気・三田勇嗣・中川佳介
軟式野球部	秋季西日本地区学生軟式野球リーグ戦	1部	6位	
ハンドボール部	秋季山口県学生ハンドボール選手権大会		4位	
紫電流空手道部	紫空連空手道選手権大会	男子個人	優勝	安岡 大貴
		男子個人	準優勝	宮本 悠貴
		女子個人	3位	喜多村 美沙
弓道部	秋季県内リーグ	男子団体	2位	
		女子個人	4位	岩見 莉沙
硬式庭球部	中国地区学年別チャレンジトーナメント	3年男子複	準優勝	中溝 宏司
		1年男子複	3位	藤田 悠介
バドミントン部	秋季山口県学生バドミントン大会	混合複	準優勝	枝廣和成・口羽歩
少林寺拳法部	山口県体育大会 少林寺拳法競技	単独演武 一般男子級拳士の部	1位	工藤 昌也
		組演武 一般女子級拳士の部	3位	家田碧・土肥瑞希
		組演武 一般男子級拳士の部	1位	伊勢村恭平・今村飛鳥
		組演武 一般男女級拳士の部	3位	妹尾和春・森紫史里
		組演武 一般男子初段の部	1位	澤野翔太・藤原康平
		組演武 一般男女初段の部	3位	草薨貴弘・高吉亜衣
		組演武 一般女子初段の部	1位	池本愛美・山崎菜未
		組演武 一般女子初段の部	2位	村上摩衣・小野内梓
		団体演武 一般の部	2位	下関市立大学A
		団体演武 一般の部	3位	下関市立大学B

行事記録 (平成24年11月～平成25年2月)

- 平成24年
- 11月 12日 学内合同業界研究会 (13、15、16日)
 - 14日 地域内分権シンポジウム
 - 17日 推薦・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試
 - 21日 第8回コリアンスピーチ大会
 - 23日 キャリアスタディ
 - 26日 推薦・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試合格発表
 - 12月 6日 点検評価シンポジウム
 - 15日 特別選抜(中国引揚者等子女)・外国人留学生入試
 - 22日 冬季休業(～1月6日)
 - 29日 学内閉鎖(～1月3日)
- 平成25年
- 1月 7日 授業再開
 - 15日 修士論文提出日
 - 18日 大学入試センター試験準備(全学休講)
 - 19日 大学入試センター試験(～20日)
 - 25日 特別選抜(中国引揚者等子女)・外国人留学生入試合格発表
／留学生送別会
 - 29日 秋学期定期試験(～2月5日)
 - 30日 卒論提出日(～31日)
 - 2月 2日 テーマ講座／ふく研究会
 - 8日 リーダーシップトレーニング／修士論文研究発表会
 - 12日 集中講義(～15日)
 - 25日 一般選抜(前期日程)